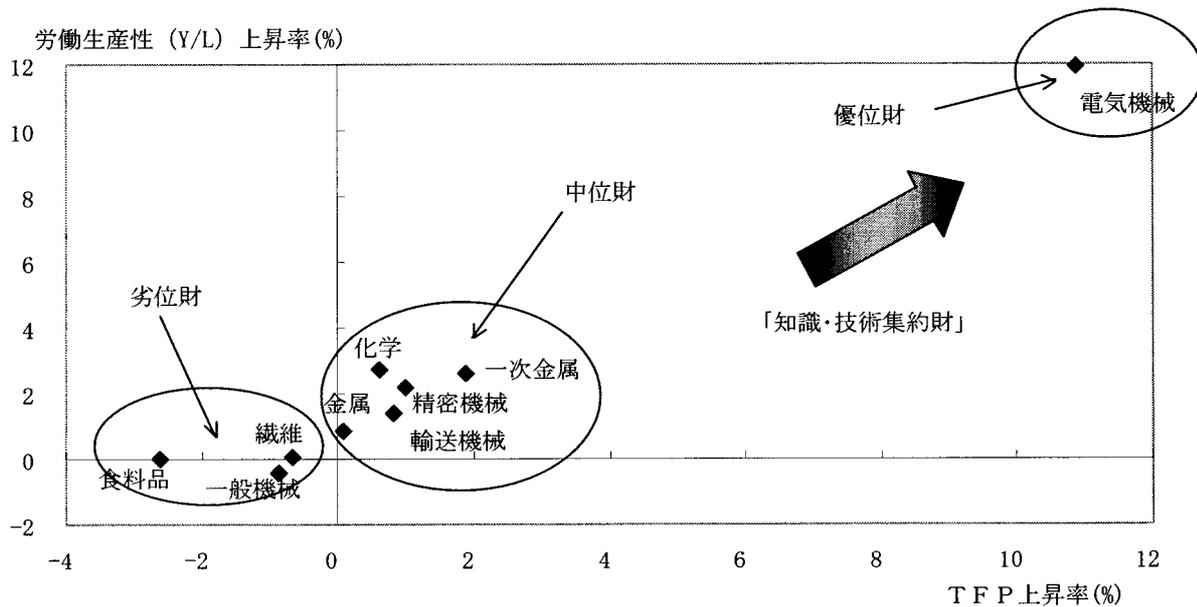


付注3-1 産業別 労働生産性と全要素生産性（TFP）の伸び

産業別での労働生産性と全要素生産性（TFP）の上昇率によって、財のグループ分けを行ったもの。
 それぞれの上昇率については、1991～95年と1996～2000年の期間平均の伸びを示している。
 財のグループ分けにあたっては、労働生産性、全要素生産性（TFP）の上昇率がともに高いものを「優位財」、労働生産性、全要素生産性（TFP）がともに上昇しているが、「優位財」よりも相対的に伸びが小さいものを「中位財」、労働生産性、全要素生産性（TFP）のいずれも上昇がみられていないものを「劣位財」とした。



(備考) 1. 内閣府「国民経済計算」、財務省「貿易統計」により作成。

(備考) 2. それぞれの上昇率は、1991～95年と1996～2000年との比較における期間平均の伸び(年率換算)を示す。